

平成 28 年度 一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会
定時総会議事録

1. 開催日時

平成 28 年 6 月 5 日（日） 14：30 ～ 16：00

2. 開催場所

大垣市情報工房 5 階 スイंकホール

〒503-0803 大垣市小野 4 丁目 35 番地 10

3. 出席会員数および委任状数（14：45 現在）

正会員数 802 名に対し、650 名（出席正会員 79 名、事前書面評決者 571 名）

4. 議案

- (1) 第一号議案 平成 27 年度 事業報告・決算報告及び監査報告について
- (2) 第二号議案 平成 28・29 年度理事候補者について

5. 進行

- 1) 司会者 藤井泰三 理事
- 2) 開会の辞 諏訪 浩 副会長
- 3) 会長挨拶 兼子 徹 会長
- 4) 議長の選出

議事に入る前に出席者に対して議長立候補の有無について確認をしたが立候補者はいなかった。その為、議長の選出について選出方法を募った。

会場より意見が無かった為、司会者の方で選出したいと提案し、挙手を求めた。賛成多数で承認され 2 名を指名した。

拍手による承認を求めた結果、賛成多数で承認を得た。

議 長 大垣市民病院 石郷 景子 先生
揖斐厚生病院 森 仁美 先生

5) 総会役員の選出

総会役員の選出方法を募ったところ、意見が無かった為、議長より議長一任の提案があり承認された。議長は、書記 2 名、資格審査委員兼議事運営委員 7 名を指名して会員の了承を求めた。

総会役員は以下の通りとなった。

書 記 鈴木 満里子
藤井 泰三（議事録作成）

資格審査委員

岐阜地区

青木 幹根

帖佐 光洋

森 晴雄

西濃地区

関 敏秀

飛騨地区

和田 久男

中濃地区

高崎 昭彦

東濃地区

可児 泰正

議事録作成者

藤井 泰三

6) 資格審査委員報告

資格審査委員長の関敏秀委員より総会出席者および事前書面評決提出会員の資格審査報告がなされた。14時45分現在、本総会への出席者正会員数は79名。事前書面評決提出者は571名であわせて650名となり6月2日現在（事前書面評決書開票日）、正会員数が802名であることから、過半数以上となり、定款第19条により本総会が成立することが報告された。

これより議長は本総会の成立を宣言し、議案審議に入ることにした。

【第一号議案】平成27年度事業報告・決算報告及び監査報告について

【議長・石郷】

・第一号議案 平成27年度事業報告について説明を求めた。

○事業報告

兼子会長より説明がなされた。

一般社団法人岐阜県臨床検査技師会定款の第3条には当会設立の目的が記されています。それは、「衛生思想の普及及び啓発並びに臨床検査を通じての地域保健事業への協力を行うとともに、臨床検査に関する技術及び知識の向上を図り、もって公衆衛生の向上と県民の健康の保持・増進に寄与する」です。

また、目的を達成するために、以下の事業を行うよう定められています。

- (1) 衛生思想の普及及び啓発に関すること。
- (2) 臨床検査を通じての地域保健事業への協力に関すること。
- (3) 学会の開催に関すること。
- (4) 臨床検査に関する講習会、研修会及び研究会に関すること。
- (5) 会誌の編集・発行に関すること。
- (6) 検査及び検査技師の実態調査に関すること。
- (7) 精度管理事業に関すること。
- (8) 内外関係団体との交流に関すること。

(9) 県民の健康増進に関すること。

(10) その他この法人の目的を達成する為に必要な事業の実施に関すること。

目的達成を目指し、平成 27 年度も多くの実施しました。いずれも、会員・賛助会員の皆様のご尽力なくしては、成し遂げられませんでした。ご支援・ご協力に深く感謝いたします。

岐臨技主催事業、他団体主催事業参加、会議、作業、出張等で 134 件行いました。

【継続して行った事業】

平成 26 年度に行われた事業の多くは、平成 27 年度にも実施しました。ただし、事業によっては細かな内容や実施回数などが異なる場合があります。

【新規に行った事業】

「検査と健康展」事業を実施しました。

【期間を限定して行う事業】

「検査説明・相談ができる検査技師育成講習会」事業は、平成 26 年度から 3 年間同様の事業（講習会）を行う予定で、平成 27 年度が 2 年目でした。

【廃止もしくは休止した事業】

「エイズ予防啓発」事業参画は、都合により休止しました。廃止したわけではなく平成 28 年度には再開したいと思います。

中部圏支部研修会の岐阜開催は、平成 27 年度にはありませんでした。

- ・ 以上、主な事業について提示した。詳細については各部長より報告する。

【議長】

- ・ それでは、各部門の報告をお願いします。

○平成 27 年度学術部事業報告

近藤部長より説明がなされた。

1. 各種学会

1) (社) 日本臨床衛生検査技師会

(1) 第 64 回日本医学検査学会は、福岡県にて開催。

岐阜県からは一般演題座長 4 名（臨床一般・病理細胞・臨床生理・臨床微生物）
発表者 13 名。

期 間：平成 27 年 5 月 16 日（土）～5 月 17 日（日）

開催地：福岡国際会議場 マリンメッセ福岡

2) 中部地区臨床衛生検査技師会

(1) 第 54 回中部圏支部医学検査学会は、静岡県静岡市にて開催。

期 間：平成 27 年 9 月 26 日（土）～9 月 27 日（日）

開催地：静岡県コンベンションアーツセンター。

座長 岐阜県より 5 名選出。(シンポジスト 1 名)

発表者 10 名。

3) (社) 岐阜県臨床検査技師会

第 54 回岐阜県医学検査学会

担当：中濃地区

学会日：平成 28 年 3 月 22 日 (日)

場所：岐阜医療科学大学

演題数：13 題

2. 総会・拡大研修会

1) 平成 27 年度 (社) 岐阜県臨床検査技師会 定期総会

担当：岐阜地区

日時：平成 27 年 6 月 14 日 (日)

場所：岐阜市 ふれあい福寿会館

内容：平成 26 年度事業報告・年度決算・監査報告

2) 春季拡大研修会

担当：岐阜地区

日時：平成 27 年 6 月 14 日 (日)

場所：岐阜市 ふれあい福寿会館

参加人数 102 名

内容：検査説明等新たな取り組みの先にあるもの、それは？ 宮島 喜文 先生
味覚・嗅覚について 伊藤 昌代 先生
現代を生き抜く上で必要な発想力と人間力 所 浩史 先生

3) 秋季拡大研修会

担当：中濃地区

日時：平成 27 年 11 月 15 日 (日)

場所：岐阜医療科学大学

参加人数 75 名

内容：糖尿病のかたち 宮崎 龍彦 先生
糖尿病治療薬の進歩 柴田 大河 先生
健康は食生活でこんなに変えられる 長村 洋一 先生

3. 部門研修会

- 1) 生物化学分析部門 年 3 回。
- 2) 臨床生理部門 年 4 回。
- 3) 臨床一般部門 年 4 回。
- 4) 臨床血液部門 年 5 回。
- 5) 病理・細胞部門 年 4 回。

- 6) 臨床微生物部門 年 6 回。
- 7) 輸血・細胞治療部門 年 7 回。
- 8) 染色体・遺伝子部門 年 2 回
- 9) 臨床検査総合部門 年 1 回

4. 岐臨技 新人サポート研修会

生物化学分析部門	「検査結果の見方」	石田 秀和	技師
臨床一般部門	「尿沈査の基本」	牛丸 星子	技師
臨床血液部門	「血球数算定について」	杉山 直久	技師
病理・細胞部門	「病理細胞検査のおもしろ話・トピックス」	石井 辰弥	技師
臨床検査総合部門	「技師会について」	森 さゆり	技師
臨床生理部門	「心電図判読のために知っておきたいこと」	野久 謙	技師
臨床微生物部門	「微生物検査の検体取り扱いとグラム染色」	中山 麻美	技師
輸血・細胞治療部門	「輸血の基礎知識」	八木 良仁	技師

5. 日臨技委託事業

- ・該当なし。

6. 後援・その他

- ・第 31 回岐阜県病院協会医学会

7. 日臨技 功労賞・学術奨励賞

- ・岐阜大学医学部付属病院 日臨技学術奨励賞 中山 麻美 技師。

8. 平成 27 年度「医学検査」投稿論文

- ・該当なし。

9. 平成 27 年度「医学検査」投稿 岐臨技推薦論文

- ・該当なし。

10. 岐阜県臨床検査技師会会誌

- ・3 題の投稿が有り、掲載した。

11. 部門別研究班 部門長・副部門長交代（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

- ・該当なし。

○平成 27 年度精管理事業部事業報告

多和田部長より説明がなされた。

平成 27 年度精度管理調査は参加施設 72（メーカー 16 を含む）、報告会 96（非会員 25 を含む）人の参加であった。

日臨技精度管理システム JAMTQC を利用した精度管理調査は 3 年目となり、日臨技申請から項目の登録を 4 月までに可能であった。5 月の精度管理調査実施要領の案内発送を定期便から担当者ダイレクト便に変更、6 月より Web 受付開始。2 週間で締め切り、実績のある未登録施設には事務員より連絡をお願いした。問屋様による 2 次募集を昨年同様実施したが、追加は得られなかった。

検体項目に必要な試料と機材の調達（生化学試料：福岡技師会に譲渡申請（3 年目）、輸血試料：

血液センターより有償譲渡契約（前年度 11 月）、一般尿試料/ HbA1c 試料：プール、血液 CBC 試料：発送日当日部員より採血、その他試料は市販品を採用）。Photo 設問は、各部門担当者による直接登録・・・6 月～7 月。確認作業を発送 2 週間前に実施した。プール試料については、岐阜市民病院に作成協力をいただいているが、すべての項目について事前測定ができないため、測定方法間のトラブルが解消できていない。また、Photo 設問について部会で事前確認作業を行っているが、担当者の欠席や専門事項への知識不足等でチェック漏れが生じている。

試料発送日に岐阜市民病院医師の御協力により CBC 試料を採血し分注（午前）。午後より各部門担当者が試料持参し箱詰めを行った。内容確認 2 人体制。本年度は試料発送内容に間違いはなかったが、生化学試料の漏れが昨年同様数件発生した。

回答期間 2 週間。集計評価実施後、一次判定結果を担当者宛に郵送した。本年度 C・D 項目以外に是正対象となる SDI 値についても案内を行った。±3SD 以上とするところを 2SD としたため多くの施設に異常項目が通知され、ご心配をおかけしたことをお詫びする。精度管理調査は、正確度の異常を修正する機会であることから昨年までは部門報告会での支援を行ってきたが、参加が限られることもあり、本年度は施設からの是正報告とした。押売り型から受付型への転換を図ったが、部門担当者への連絡方法について対策が必要と考えられた。

最終報告前に救済日を設定しているが、是正報告もされない施設が回答を修正されることにより全体の評価がよくなっている状況について、岐阜県の実態を反映できていない可能性もあり、救済日以前の評価について部門の精度管理状況を把握すべきと考えられる。

報告会までに、総括集の発行と参加証明書・最終評価表を発送した。総括集の製本には多額な費用が使われることや施設に 1 冊では回覧での運用となり活用されにくいことも考え、JAMTQC か 学術 HP の PDF 化を今後検討すべきと考えられる。コスト削減により、今年度実施できなかった CA125 や CA19-9 などの試料調達に転用できればより多くの情報を参加者に還元できるのではないかと考えられた。

日臨技標準化事業に大垣市民病院・中濃厚生病院・久美愛厚生病院にご協力いただいているが基幹施設に負担にならない範囲でご支援願えれば幸いである。

精度管理事業は、今後、評価から検査の質向上のためのフォローアップへ転換していくことが重要と考えられる。

○平成 27 年度組織調査部事業報告

臼井部長より説明がなされた。

1 啓発および保健衛生事業

- (1) 検査と健康展（別紙）
- (2) 各地区市民健康まつり

① 平成 27 年度 第 21 回やさか福祉健康まつり

日時：平成 27 年 10 月 25 日（日）10:00～14:00

場所：中津川市坂下総合体育館

内容：骨密度測定 140 名

技師派遣：2 名

② 平成 27 年度 第 26 回高山市市民健康まつり

日時：平成 27 年 10 月 4 日（日）8:30～15:00

場所：高山市保健センター1階

内容：血管年齢測定（バセラ） 85名

骨密度測定（ビーナス）81名

技師派遣：14名

③ 平成 27 年度 大垣市市民の健康ひろば

日時：平成 27 年 10 月 18 日（日）9:30～15:00

場所：大垣城ホール

内容：血管年齢測定（ダイナパルス 2台）

骨密度測定（ビーナス 1台）

生活習慣病の予防啓発

臨床検査コーナー来場者 235名

技師派遣：11名

④ 平成 27 年度 ぎふ市民健康まつり

日時：平成 27 年 11 月 8 日（日）10:00～15:30

場所：岐阜市民文化センター

内容：尿検査（US-2200 2台）220名

尿中ピロリ抗体検査 105名

血管年齢測定（ダイナパルス 3台）650名

頸動脈超音波検査（Xario 2台）168名

技師派遣：41名

(3) HIV・STI 予防に関する事業

① 平成 27 年度 MSM 対象無料 HIV 検査会（主催 岐阜県健康福祉課）

ハートフルスクエアG 平成 27 年 11 月 15 日（日） 13:00～18:30

技師派遣：7名

② 大学での予防啓発活動は実施せず

2 表彰規程の改訂

第3章 功労者表彰

(基準) 第6条(2)

「研究班班長を通年4年以上努め、且つ副班長歴が2年以上」を

「研究班班長又は部門長を通年4年以上努めた正会員」に改訂した。

3 功労者表彰対象者、永年職務精励者選出

4 平成 28 年度 「岐臨技 検査と健康展」の開催検討

平成 27 年度 全国「検査と健康展」

開催日：平成 27 年 11 月 29 日（日）

決 算 書

(収 入)

科 目	金 額 (円)	内 訳 ・ 備 考
運 営 費	500,000 円	日臨技助成金
運 営 費	16,549 円	岐臨技助成金
合 計	516,549 円	

(支 出)

科 目	金 額 (円)	内 訳 ・ 備 考
会 場 費	15,120 円	
設 備 ・ 備 品 費	117,720 円	衝立 (30 枚)
	73,224 円	顕微鏡 (5 台)
	32,400 円	血管年齢 (2 台)
	22,550 円	骨密度 (1 台)
	8,640 円	尿定性試験紙、
	19,940 円	唾液アミラーゼ測定チップ
	21,380 円	OA タップ
	234 円	画鋏
5,400 円	配布用ティッシュ	
印 刷 費	6,000 円	コピー代
人 件 費	3,700 円	前日：事前準備日当 (3 名)
	156,424 円	当日：日当・食卓費・交通費 (42 名)
会 議 費	7,700 円	6 名
消 耗 品 費	1,179 円	酒精面
	739 円	キムワイプ
	2,622 円	キムタオル
	202 円	ゴミ袋
	408 円	ティッシュ
	108 円	養生テープ
	432 円	プッシュピン
2,427 円	両面テープ	
雑 費	18,000 円	診療所開設申請費用
合 計	516,549 円	

「検査と健康展」 ～臨床検査の世界を体験しませんか～
現場の臨床検査技師がやさしくご説明いたします

開催日時：平成 27 年 11 月 29 日（日）10 時～15 時

場所：アクアウォーク大垣内アクアホール

大垣市林町 6 丁目 80 番地 21

主催：一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会

一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会

後援：厚生労働省・岐阜県病院協会・岐阜県看護協会・大垣市教育委員会

対象：中学生・高校生・一般市民

事業内容

1. 臨床検査を知ってもらう（検査室業務の実際—各部門による）

【生物化学分析部門】

- 1) 「メタボとは」・・・(パネル展示)
- 2) 唾液アミラーゼモニターを利用した体験型ストレスチェック

【臨床生理部門】

- 1) 「超音波で体の中を見てみよう」
・超音波診断装置をフリーな状態で、実際にプローブをもって実体験

【臨床微生物部門】

- 1) 「顕微鏡を用いて口腔内常在菌を見てみよう」
- 2) PC で手洗い啓蒙（パワーポイントを見せる）

【臨床血液部門】

- 1) パネル説明「貧血の検査、血球の説明」（パネル説明）
- 2) 鏡検（正常、白血病など）

【病理・細胞部門】

- 1) 「顕微鏡で正常細胞と癌細胞をみてみよう」

【輸血細胞治療部門】

- 1) 輸血と血液型（ポスター展示）

【臨床一般部門】

- 1) 擬似尿による尿定性測定
- 2) 尿検査の説明（パンフレット等）

【その他】

臨床検査技師紹介 DVD 上映（随時）

2. 健康相談

専門医による健康相談（三楽病院 東條先生）

3. 健康チェック

- 1) 血管年齢測定

- 2) 骨密度測定
- 3) アンケート用紙を用いて健康チェック
 - ・生活習慣病チェック
4. 学校紹介
5. リーフレット配布

技師会派遣：41名

来場者数：307名

○平成27年度広報宣伝部事業報告

森本部長が欠席のため藤井庶務部長より説明がなされた。

1. ホームページの維持管理
2. 会報「ぎふ臨技」の発行

(内容)

部門別研修会案内の掲載

臨床検査関連の学会案内の掲載

その他、関連団体からの案内の掲載

(発行実績)

岐臨技会報 第37号発行 (平成27年4月20日)

岐臨技会報 第38号発行 (平成27年5月20日)

岐臨技会報 第39号発行 (平成27年6月20日)

岐臨技会報 第40号発行 (平成27年7月21日)

岐臨技会報 第41号発行 (平成27年8月20日)

岐臨技会報 第42号発行 (平成27年9月20日)

岐臨技会報 第43号発行 (平成27年10月20日)

岐臨技会報 第44号発行 (平成27年11月20日)

岐臨技会報 第45号発行 (平成28年1月20日)

岐臨技会報 第46号発行 (平成28年2月22日)

○平成27年度法人対応部事業報告

鈴木部長より説明がなされた。

- 1) 平成27年度定時総会にて、平成26年度決算を承認 (6月14日)
- 2) 公益目的支出計画実施報告書を作成し、電子申請を行う (6月15日)
 - 県医療整備課より、3回修正の指摘を受け修正し、11月16日審査完了となる。
 - 一般社団法人移行時における
 - 公益目的財産額 13,367,094円
 - 公益目的支出計画実施期間 13年間
 - (平成26年7月1日通知)

27年度の公益目的収支額が増え、当初の予定より完了予定が3年短縮された。

当該事業年度末日の公益目的財産残高：11,999,695円

終了予定年度：平成36年3月31日

○平成27年度庶務部事業報告

藤井部長より説明がなされた。

1) 庶務部及び事務員の業務

1. 研修会・連絡事項等の発送（毎月20日）
2. 理事会・常務理事会の開催案内送付（メールにて）
3. 事務所使用管理
4. 日臨技・各種団体・会員・賛助会員よりの問い合わせ等の対応
5. 各種の書類管理
6. 理事会・常務理事会資料作製
7. 定時総会・理事会・常務理事会の議事録作成
8. 会費管理に関する事項の対応
9. 定時総会出席者の日臨技生涯教育研修制度への登録
10. 事務所 マンション管理組合総会への出席

2) 事務所使用状況

1. 岐臨技役員主催による会議等

理事会・常務理事会・部門長会議・精度管理事業部会議・検査説明相談会議・拡大研修会会議・ぎふ市民健康まつり等で使用された。

2. 一般会員の使用はありませんでした。

3) 事務所のカギ管理状況について

平成27年4月1日より平成28年3月31日の期間において、鍵（7本及び予備1本）の管理状況は、紛失などの届出はなく適正に管理されていました。

4) 理事会・常務理事会

理事会6回（4月、5月、8月、10月、12月、2月）に開催。

常務理事会6回（5月、7月、9月、11月、1月、3月）に開催。

○平成27年度会計部決算報告

柴部長より説明がなされた。

主な増減事項の説明がなされた。

1. 「収支計算書」は予算額と決算額を比較しています。

- ・経営収益の「入会金・会費収入」の「正会員会費収入」の増加は、会員数の増加（+27名）によるものです。
- ・経営収益の「事業収入」の「広告収入」は、岐臨技ホームページに掲載のバナー広告料を新規にいただくようになったため増加しました。
- ・経営収益の「交付金等収入」の「学会研修会等助成金収入」は、最大20研修会を予定していましたが、実際には申請が14回にとどまったため減少しました。

- ・経常費用の「事業費」の「事務員給与」は事務作業増大のため増加しました。
 - ・経常費用の「事業費」の「食卓費」は県学会・拡大研修会の昼食代（ランチョンセミナー）を支払う予定で予算を立てましたが、企業側で支払われたため、その分減少しました。
 - ・経常費用の「事業費」の「ホームページ維持費」は、岐臨技ホームページ更新費用のため増加しました。
 - ・経常費用の「事業費」の「試薬代金」は、輸血細胞治療部門研修会と岐阜地区健康イベントで試薬を購入したため、増加しました。
 - ・経常費用の「事業費」の「講師等謝礼金」は、想定以上に多くの講師を招聘したため増加しました。
2. 「正味財産増減計算書」は、前年度と当年度の決算額を比較表示しています。
- ・経営収益の「入会金・会費収入」の「正会員費収入」及び「事業収入」の「広告費収入」増加は「収支計算書」と同じ理由です。
 - ・経常収益の「交付金等収入」の「その他助成金収入」は、検査と健康展に対する助成金のため、増加しました。
 - ・経常収益「事業収入」の「研修会等協賛金収入」は、協賛金が今年度はありませんでした。
 - ・経常費用の「事業費」の「報償費」は、永年会員表彰のため増加しました。
 - ・経常費用の「事業費」の「ホームページ維持費」は、岐臨技ホームページを更新したこと他に、ホームページ運営企業と本契約を結んだため、増加となりました。
 - ・経常費用の「事業費」の「機器リース料」は、コピー機をリース契約したため増加となりました。
 - ・経常費用の「事業費」の「事務員給与」・「試薬代金」の増加は「収支計算書」と同じ理由です。
3. 「貸借対照表」と「財産目録」の負債の部「前受金」は、平成 28 年度分の入会金・正会員会費収入のほとんどが平成 27 年度中に入金があったものです。これは毎年同じです。

○平成 27 年度監査報告

渡辺監事より説明がなされた。

監査方法の概要

理事会に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、業務および財産の状況を調査した。また、事業報告並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類の監査を実施した。

監査結果

1. 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
2. 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
3. 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、計算書類の記録と合致しているものと認めます。
4. 計算書類は、法令及び定款に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。

【議長・石郷】

第1号議案について審議を求めた。

大垣市民病院の石郷潮美先生より意見があった。理事会の議事録が約1年ホームページに掲載されておらず、少なくとも1ヶ月以内にホームページに理事会議事録をアップして、各会員にどのような形で承認されているのか、どのような形で執行されるのかをきちんと会員に情報を公開していないといけないと発言があった。

兼子会長より、石郷先生の発言はおっしゃる通りで、今後このような事が無いように指導します。その他に意見が無かったため採決にはいった。

承認するは、定時総会参加人数から、承認しない人数と棄権の人数を引いた数とした。

事前書面評決数 571 票 承認 564 票 不承認 1 票 無効票 6 票

会場 承認 79 不承認 0 棄権 0 合計承認 643 票 不承認 1 票 無効票 6 票

にて第1号議案は承認された。

議長交代

【第二号議案】平成28・29年度理事候補者について承認の件

【議長・森】

・平成28・29年度理事候補について説明を求めた。

野久管理委員より、開票報告があった。

選挙管理委員4名 部長2名 地区理事2名 会員2名の立会いのもと開票を行った。

投票数 662 票 有効投票数 662 票 無効投票数 0 票

理事

(岐阜地区) 後藤 浩 早川恭江 兼子 徹 林 博之 高木康雄

(西濃地区) 浅野敦 川島直樹 松浦康博

(飛騨地区) 舟橋信司 荒井 亨 佐々木昭光

(中濃地区) 乙訓貴之 青木洋子 林 泉

(東濃地区) 美濃輪緑 棚村一彦 市川浩良

理事部長

学術部 帖佐光洋

精度管理事業部 佐藤恵彦

組織調査部 清水康之

広報宣伝部 高崎昭彦

法人対応部 柴 千春

監事

森 さゆり

太田義和

理事17名・理事部長5名・監事2名の候補者すべての人が、役員選挙規程第25条3項による有効書面の過半数を得たため承認された。

【議長・森】

以上をもちまして、議案のすべてを原案通り可決いたしました。


【議長・森】


折角の機会ですので、技師会に対して、意見・要望等がありましたら、この場で発言をお願いします。何かございませんか？との問いかけに、会場より意見等は出なかった。


【議長・森】

以上をもちまして、本総会の議事を全て終了いたします。これをもちまして総会役員を解任いたします。また、議長の任を解かさせていただきます。

9) 閉会の辞 浅野 敦 副会長

議長 石郷 景子 

議長 森 仁美 

議事録作成者 藤井 泰三 

会長 弟子 徹 